

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

平成28年度第2回検査室運営研修会に参加して

第45回埼玉県医学検査学会『挑戦』、市民公開講演『認知症』、そして2017年2月21日（大宮ソニック）検査室運営研修会『認知症について、理解を深めよう!!』とタイミングの良い講習会だったと思います。我々臨床検査技師はチーム医療に参画すべく多くの施設で試行錯誤しながら奮闘されているものと思われます。日臨技が進めている病棟検査業務に加え新たな方針として、訪問検査を打ち出してきています。既に訪問看護、訪問リハビリ、訪問薬剤などといったように訪問医療はこれからの時代に必要不可欠な仕事と思われます。そのように考えると、検査技師のできる業務（検査）は非常に多く、医師の指示のもとではありますが、採血をはじめとした検体採取・生理機能検査、特に今回の認知症検査の需要は非常に大きいのではないのでしょうか。

そのためなのか、講習会参加者数は83名の予想を上回り、全ての席は埋め尽くされ立ち見が出るほどの大盛況となりました。

第1講で越谷市立病院の渋谷賢一氏より、認知症とは・認知症をきたす疾患・認知症の現状と対策・認知症の臨床検査について・神経心理学検査について・認定認知症領域検査技師についてと広範囲にお話しいただきました。知識が豊富でもっと多くのことを聴けたらと思うと少々時間が足りなかったように思われました。特に印象に残ったことは、我々の行う臨床検査（検体・生理）ではアルツハイマー型・血管性・レビー小体型・混合型・前頭側頭葉変性症による認知症96%の判定が出来ないことでした。むしろこれから取り入れようとする神経心理学的検査が大切であると理解しました。



第2講では創価大学看護学部の鈴木智子氏より、認知症患者をどのように視るのか、認知症患者も一人の人間であることを説かれ、介護や看護をする者が、認知症の中核症状に関して理論的に理解し、判断することによりBPSDといった行為を防げることを説かれました。実体験をもとに詳細にわかりやすく説明していただきました。そして認知症患者の採血にしても、駆血帯を巻く・消毒をする・針を刺す・駆血帯を外す・針を抜く・圧迫止血するといった行為を1つずつ患者に問いながら行うことで、患者の安心をもたらすことが出来ることを知りました。



私は既に臨床から離れ引退しましたが、これからの臨床検査技師が新たな未来（チーム医療）へ羽ばたくことを期待しています。その一つに今回の神経心理学的検査業務も担うものと確信しました。

最後に、このような素晴らしい企画を立てていただいた検査室管理運営委員会及びご講演いただいた両氏に感謝いたします。

(文責：並木 薫)



埼玉県医師会精度管理調査 目標値訂正のお知らせ

平成28年度埼玉県医師会精度管理調査におきまして、血清検査部門の報告書において腫瘍マーカー等の目標値設定に誤りが見つかりました。以下のように訂正させていただきます。このたびは関係する皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。誠に申し訳ございませんでした。

正 誤 表

項目名	試料 21		試料 22	
	誤)	正)	誤)	正)
AFP	65.2	63.9	7.3	7.1
CEA	11.9	11.2	3.8	3.5
TSH	10.76	8.934	0.73	0.696
PSA	24.156	25.250	3.065	3.359

報告書p159:表12, p163:表14, p167:表18, p171:表16 各左列の[測定機器 目標値 (資料21/22)] AIA欄

～平成29年度日臨技 関甲信支部・首都圏支部第54回医学検査医学検査学会HP開設～

平成29年度日臨技関甲信支部・首都圏支部第54回医学検査医学検査学会は、埼玉県が担当となり下記の日程にて開催されます。

その学会HP、Facebook、Twitterが開設されました。学会情報を随時、お知らせします。フォロー宜しく願います。

会 期：平成29年度10月28日(土)・29日(日)

会 場：ラフレさいたま

学 会 長：津田聡一郎 (株式会社アムル 上尾中央臨床検査研究所)

実行委員長：濱本 隆明 (防衛医科大学校病院)

日臨技 関甲信支部・首都圏支部第54回医学検査学会

H P : <http://www.sairingi.com/academy/kankoushinsyutoken54/>

Facebook : <https://www.facebook.com/kankoushinsyutoken54igaku/>

Twitter : @54kan_shuto



学会facebook



学会HP

各研究班の研修会報告を致します。

テーマ 抗核抗体について学びましょう

自己抗体検査入門編「抗核抗体スクリーニング検査について」

主催 血清検査研究班

実施日時：平成29年 1月26日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ604号室 点数：基礎教科－20点

講 師：市河 邦彦（MBL株式会社 医学生物学研究所 営業本部 営業部）

参加人数：会員50名 賛助会員 1名

出席した研究班班員：庄司和春 大島まり子 鈴木淳子 鯨井智子 中別府奈穂子
多川裕介 天野直樹 岩崎篤史

研修内容・感想など

今回は抗核抗体のスクリーニング検査について、市河氏にご講演いただいた。抗核抗体とはさまざまな自己免疫疾患で出現する細胞核内の蛋白質抗原に対する自己抗体の総称であり、現在では30種類以上が知られている。自己抗体の中では最もよく知られている抗体であり、対する抗原は臓器特異性が無く、診断価値の高い抗体である。また、抗核抗体検査は自己免疫疾患が疑われる場合には必須の検査項目であり、包括的なスクリーニングを経て疾患特異的な各自己抗体の検索へと進むことが多い。最も多く用いられている測定法は間接蛍光抗体法であり、陽性の場合には蛍光染色されたパターン（染色型）により、ある程度自己抗体の分類が可能となる。抗原としてHE p 2（ヒト喉頭ガン由来培養）細胞が最も多く用いられている。特長として、ヒト由来細胞であることから、種特異性のある自己抗体を捕らえることができる。また、培養細胞であるため細胞周期特有の細胞が混在しており、抗セントロメア抗体や抗細胞質抗体の検出も可能となる。間接蛍光抗体法による抗核抗体の検出には陰陽性の判定、染色型の判定（パターン判定）、検体希釈による半定量（力価測定）の3つが重要である。その中でも染色型の判定が困難なケースが多く、今回の講演では各染色パターンの特長や見分け方だけでなく、染色パターンが混在している症例についても詳しく説明していただいた。

判定結果の標準化を目的とした抗核抗体検査の全自動蛍光抗体法分析装置「HELIOS」についてもご説明いただいた。「HELIOS」では今まで用手法で行ってきた標本作製工程や検鏡工程を完全フルオートで対応することができる。また、個人の主観が結果に影響しやすく、施設間のばらつきの要因となっている抗体価測定、染色型判定を自動で行うことが可能である。この装置により正確で迅速な検査が実現される。

抗核抗体検査は判定にある程度の経験が必要であり、検鏡には専用の暗室が必要であるため、自施設での実施数は減少している。また、全自動装置は時間やコストの面で導入が困難な施設が多いと考えられる。そのため用手法で標本作製し判定へと進む施設がほとんどである。検鏡の工程では術者によって蛍光強度の捉え方に違いが見られ、施設間でのばらつきの要因となっている。対策として陽性/陰性コントロール用いて比較判定することや、サーベイ結果をもとに術者間で標本作製工程や判定結果を確認し合うことが大切である。

（文責：岩崎篤史）

平成28年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第12回 理事会議事録

日時：平成29年2月9日(木) 19時00分より

場所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席：(理事)津田 島村 岡田 矢作 小山
奈良 長岡 猪浦 石井 松岡
小島 濱本 藤井 長澤 神嶋
伊藤 阿部

(監事)遠藤

欠席：(理事)神山 鳥山 武関 山口 濱田
(監事)細谷

本日の理事会の出席者は18名であった。理事の出席者は17名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告(平成28年1月12日～平成29年2月8日)

1月12日(木)平成28年度公益社団法人第11回理事会：

津田、神山、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、石井、松岡、小島、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、鳥山、武関、阿部、遠藤、細谷

1月12日(木)会計入力作業：小島

1月14日(土)埼玉県看護協会新年懇話会：神山

1月20日(金)第54回日臨技関甲信・首都圏支部学会第2回実行委員会：

津田、濱本、神山、島村、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、藤井、伊藤、濱田、山口、鳥山、武関、阿部

1月27日(金)第45回埼玉県医学検査学会第17回実行委員会：猪浦、長澤、武関

1月27日(金)日臨技国会議事堂視察：
津田、岡田

1月27日(金)日臨技情勢報告会：
津田、神山、岡田

1月27日(金)日臨技賀詞交換会：
津田、神山、岡田

1月28日(土)日臨技全国支部幹事会：
神山、津田、岡田

1月31日(火)第2回総務部会議：
島村、岡田、奈良、猪浦、石井

2月1日(水)会計入力作業：小島

2月2日(木)第54回日臨技関甲信・首都圏支部学会業務委託説明会：

津田、濱本、島村、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、石井、松岡、小島、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口

2月4日(土)一都八県会長会議：津田、神山

2月4日(土)日臨技関甲信支部幹事会：
神山、津田

2月4日(土)日臨技首都圏支部・関甲信支部人材育成研修会：

津田、神山、矢作、小山、小島、濱本、濱田

2月4日(土)埼玉県医師会新春の集い：

津田、神山、島村

2月4日(土)北部地区研修会：

山口、鳥山、阿部

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 1月14日、埼玉県看護協会新年懇話会に神山副会長が出席した。

2) 1月27日、日臨技主催による国会議事堂見学、情勢報告会、全国幹事会、賀詞交換会が開催され、津田会長、神山副会長、岡田副会長が参加した。

3) 2月4日、埼玉県医師会新春の集いが開催され、津田会長、神山副会長、島村副会長が出席した。

4) 第15回生物試料分析科学会関東支部学術集会の後援の回答を行った。

5) 各技師養成校卒業式への出席者を下記の通り決定した。

・東武医学技術専門学校

(3月11日(土)11時より)：神山副会長

・埼玉医科大学

(3月11日(土)13時より)：松岡常務理事

- ・文京学院大学
(3月12日(日)10時より)：矢作常務理事
 - ・西武学園医学技術専門学校
(3月15日(水)13時より)：津田会長
 - ・埼玉県立大学
(3月15日(水)10時より)：岡田副会長
- 2 総務部**
- 1)「埼臨技だより」第453号、2月15日発行予定
 - 2)1月31日、第2回総務部会議を開催した。
- 3 事業部**
- 1)2月21日開催、検査室運営研修会アンケート調査について
 - 2)3月18・19日、日臨技検体採取講習会派遣実務委員リストを日臨技事務局へ提出した。
- 4 学術部**
- 1)平成29年度4・5月分の生涯教育プログラムを発行予定
 - 2)2月4日、北部地区研修会を開催した。
参加者：一般会員42名、学生6名、計48名。
- 5 精度保証部**
- 1)特になし。
- 6 会計部**
- 1)平成28年度正会員費4名分20,000円、入金金4名分4,000円、合計24,000円の入金があった。
 - 2)石井印刷へ、埼臨技だより452号印刷代116,368円、封筒角2印刷代59,400円 合計175,768円を振り込んだ。
- 7 精度管理委員会**
- 1)平成28年度埼玉県医師会精度管理調査報告書を2月17日(金)に納品予定
 - 2)平成28年度埼玉県医師会精度管理調査報告会を3月14日(火)に開催予定
- 8 一都八県会長会議**
- 1)2月4日、会議が開催された。
支部学会における賛助会員の参加費は、支部学会開催都県の賛助会員になっている社員であれば参加費は会員扱いとし、これ以外は非会員扱いとすることになった。また、学術奨励賞受賞者の表彰式への参加については、現在、学術奨励賞の表彰を学会の意見交換会で表彰しており、この表彰は主催者が呼ぶものであるから、受賞者の意見交換会の参加は招待とし、参加費は免除とすることを確認した。

- 9 日臨技関甲信支部**
- 1)2月4日、会議が開催された。
 - 2)日臨技首都圏・関甲信支部人材育成研修会が開催された。
- 10 日臨技**
- 1)特になし。
- 11 第45回埼玉県医学検査学会**
- 1)1月27日、第17回実行委員会が開催された。
- 12 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会**
- 1)1月20日、第2回実行委員会が開催された。
- Ⅲ. 承認事項**
- 1 事務局**
- 1)会員動向(平成28年度分)
平成29年2月1日現在
会員数 2,750名
(新入会員257名[平成27年度会員数2,587名])
賛助会員 82社[平成27年度 79社]
承認された。
 - 2)平成28年度臨時会員総会議事運営時程表について
承認された。
- 2 総務部**
- 1)特になし。
- 3 事業部**
- 1)特になし。
- 4 学術部**
- 1)第66回日本医学検査学会座長推薦について
承認された。
- 5 精度保証部**
- 1)特になし。
- 6 会計部**
- 1)特になし。
- 7 精度管理委員会**
- 1)特になし。
- 8 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会**
- 1)特になし。
- Ⅳ. 議題**
- 特になし。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

求人案内

- 一般社団法人 大宮医師会メディカルセンター
採用条件：非常勤職員
連絡先：048-665-6559 廣田・吉田
- 医療法人桂水会 岡病院
採用条件：正職員
連絡先：0495-24-8821 総務課 高橋
- 埼玉県総合リハビリテーションセンター
採用条件：臨時職員（パート）
連絡先：048-781-2222 内線2214
職員担当 松田
- 大宮内科クリニック
採用条件：正職員
連絡先：048-650-2521 事務長 鈴木
- 公益財団法人 埼玉県健康づくり事業団
採用条件：臨時職員（パート） その他（登録制）
連絡先：0493-81-6064 内線4160
事業部 野寺さとみ
- 医療法人 熊谷総合病院
採用条件：正職員
連絡先：048-521-0065 内線2112
総務課 関口・引間
- 医療法人 大宮シティクリニック
採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：048-645-1256 本部長 星野
- 川越リハビリテーション病院
採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：049-245-3555 内線140
鈴木 剛
- 医療法人財団 聖蹟会 埼玉県央病院
採用条件：正職員
臨時職員（午前パート可9:00～13:00）
連絡先：048-776-0022 総務人事課 石関
- 医療法人社団協友会 八潮中央総合病院
採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：048-996-1131 内線553
総務課 杉田
- 特定医療法人 俊仁会 埼玉よりい病院
採用条件：正職員
連絡先：048-579-2788 事務長 井上
- 医療法人社団和風会 所沢中央病院
採用条件：正職員
連絡先：04-2994-1265
事務長 服部 貢

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

あ と が き

釣りの話を聞いていると、気になる会話があります。「外道ばかりで魚を捨ててきた。」という話です。この外道とは何でしょうか。例えば、アジ釣りの場合はサバやイシモチであったりします。

去年の4月にサワラ、ワラサ狙いで出船した船長が、イナダの群れを見つけて狙ったら、次から次に大型のトラフグが掛かって来て、ビックリしたそうです。狙ったもの以外は期待外れになることもあります。時には思いもよらない外道が釣れる場合があります。

今東京湾では高級魚のトラフグが釣れているそうです。ピークの12月には100尾以上獲れたこともあるそうです。東京湾のトラフグは新たな江戸前の特産となれるのでしょうか。

まるでフグのように関係者の期待は、膨らんでいるようです。

(奈良 記)

